

令和6年度 千歳市地球温暖化対策実行計画～区域施策編～の進捗状況について

1 趣旨

本計画は、脱炭素社会を構築するための具体的な目標や施策を定めることで、市民、事業者、市が一体となってカーボンニュートラルを実現することを目的としており、本計画内の基本方針及び施策に基づき設定している地球温暖化に対する緩和策の評価指標の現況値を把握し、進捗を確認します。施策の進捗状況については、千歳市環境審議会、ちとせゼロカーボンプロジェクトチームに報告するとともに意見を求め、それを踏まえながら本計画の推進を図ります。また、進捗状況や社会情勢の変化に応じて脱炭素シナリオの見直しを行います。

なお、計画の行動期間は、令和6年度から計画の行動期間の終期である2030年度（令和12年度）までの7年間であり、令和12年度までの達成を目指しています。

図1 千歳市地球温暖化対策実行計画～区域施策編～の位置づけ

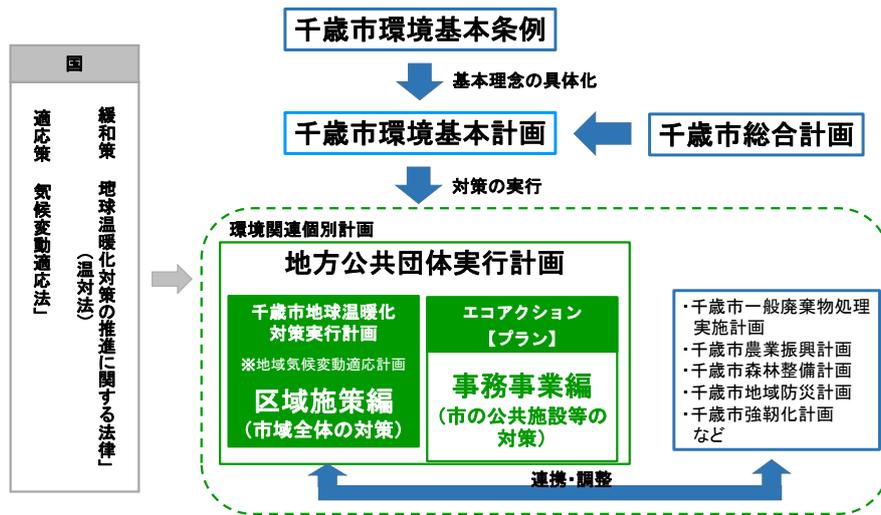
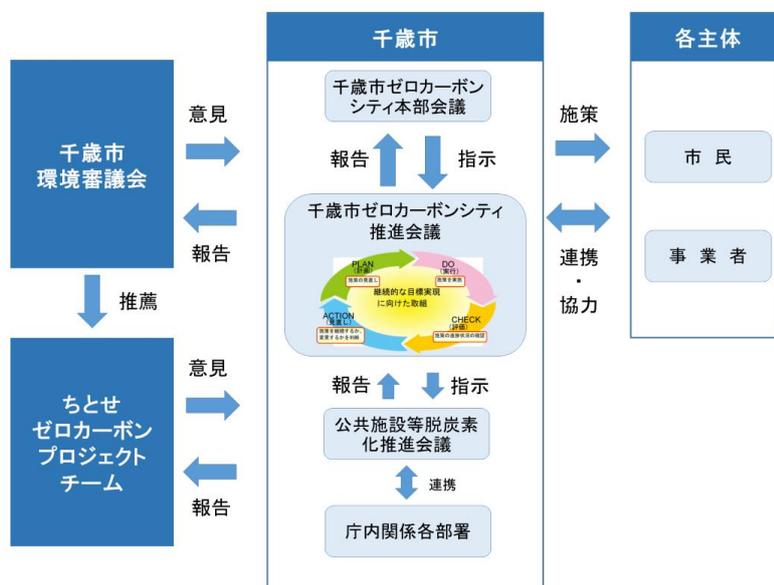


図2 千歳市地球温暖化対策実行計画～区域施策編～の推進体制



2 令和6年度末現在における評価指標の数値について

令和6年度末現在の評価指標別数値一覧

基本方針1. 省エネルギー対策の推進					
(1) 施設や設備の省エネ化とエネルギー消費量等の見える化の推進、 (2) 環境にやさしい移動手段の促進、(3) コンパクトシティの推進					
項番	指標項目	内容	実績値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	目標達成状況 (令和6年度末)
1	エネルギー使用に係る削減率	市が所有又は管理する施設のエネルギー使用に係る効率化を計るための指標である原単位の現状値(R元年度)からの削減率(例 エネルギー消費量÷延床面積あたり)	-7.1%	11.0%	-65%
2	公共施設におけるLED導入率	省エネ法により登録されている公共施設140施設の照明灯のうち、電力消費量削減につながるLED照明灯への交換が実施済みの施設割合 ※日常的に使用していない部屋等の照明灯を除く	34.3%	100.0%	33%
3	街路灯におけるLED導入率	市道街路灯のうち、電力消費量削減につながるLED街路灯への交換が実施済みの割合	53.0%	90.0%	58%
4	路線バス利用者数	夏季、冬季に実施している路線バス乗降調査結果に基づくバス利用者数 (自家用車よりも環境にやさしい移動手段である公共交通の利用状況)	4,499人	6,200人	73%
5	中心市街地の人口	都市計画マスタープランの中心市街地地区(栄町1～6、千代田町1～6、幸町1～6、清水町1～6、東雲町1～5、錦町1～4、北栄1～2、本町1～4、朝日町1～5、花園1～7、高台3～4、末広1～8、青葉1)における住民基本台帳人口(コンパクトシティの推進により公共施設の適正配置や施設規模の見直しにつながり、施設から排出される温室効果ガスの排出量削減につながる指標)	11,823人	13,040人	91%

基本方針2. 再生可能エネルギーの導入拡大

(1) 再生可能エネルギー設備の設置推進、(2) 再生可能エネルギーの利用促進

項番	指標項目	内容	実績値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	目標達成状況 (令和6年度末)
6	太陽光発電設備を設置している公共施設の割合	太陽光発電設備を設置することが可能な市の公共施設のうち、設置している施設の割合	20%	50%	40%
7	太陽光発電設備設置補助容量	市の支援により設置した太陽光発電設備の容量	0MW	5MW	0%
8	水素やバイオマスなどの次世代エネルギー製造拠点数	市内で製造している水素、バイオマスなどの次世代エネルギーの製造拠点の数	2件	5件	40%

基本目標3. 二酸化炭素吸収源の確保と循環型社会の形成

(1) 二酸化炭素吸収減の確保、(2) ごみの発生抑制とリサイクルの推進

項番	指標項目	内容	実績値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	目標達成状況 (令和6年度末)
9	植栽・間伐面積	国や北海道の補助事業、民間事業及び森林環境譲与税を活用した事業による森林の植栽・間伐面積	27.0 ha	22.0 ha	123%
10	経営管理が行われている私有林面積	森林法に規定する森林のうち、経営管理が行われている私有林面積	1,747 ha	1,587 ha	110%
11	リサイクル率	一般廃棄物総排出量に対するリサイクル量の割合	26.0%	↗	—
12	家庭ごみの一人一日当たり排出量	家庭から排出されるごみの一人一日当たりの排出量	609g	↘	—

※項番11「リサイクル率」、項番12「家庭ごみの一人一日当たり排出量」については、具体的な目標値を設定していない項目のため、「目標達成状況（R6年度末）」については「—」と表記しています。

基本目標 4. 行動変容の推進

(1) 脱炭素に関する情報発信、(2) 環境教育・環境学習の推進

項番	指標項目	内容	実績値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	目標達成状況 (令和6年度末)
13	カーボンニュートラルに関する発信活動数	SNS や HP などにより、カーボンニュートラルに関する発信活動を行った回数	8 回	12 回	67%
14	環境学習受講者数	「子ども環境教室」等の年間受講者数	1,449 人	2,000 人	72%
15	イベント出展数	イベントに出展し脱炭素の普及啓発活動を行った回数	3 回	6 回	50%
16	小中学校におけるカーボンニュートラルに関する授業数	市内の小中学校で実施したカーボンニュートラルに関する授業の実施回数	9 回	27 回	30%

3 令和6年度末現在の達成状況について

令和6年度末現在の評価指標のうち、基本方針別目標達成状況

取組分野ごとの基本方針	令和6年度末現在の目標達成状況		
	目標数	目標を上回ったもの	目標を下回ったもの
1. 省エネルギー対策の推進	5	0	5
2. 再生可能エネルギーの導入拡大	3	0	3
3. 二酸化炭素吸収減の確保と循環型社会の形成	2	2	0
4. 行動変容の推進	4	0	4
合計	14	2	12

※評価指標16項目のうち、項番11「リサイクル率」、項番12「家庭ごみの一人一日当たり排出量」については、具体的な目標値が無いため指標の数に含んでおりません。

令和6年度末現在の評価指標の達成率

達成率	指標の数	割合
90%以上	3	21.43 %
70%以上 89%以下	2	14.29 %
50%以上 69%以下	3	21.43 %
49%以下	6	42.85 %
合計	14	100.00 %

※評価指標16項目のうち、項番11「リサイクル率」、項番12「家庭ごみの一人一日当たり排出量」については、具体的な目標値が無いため指標の数に含んでおりません。

4 達成率 50%を下回っている項目の現況について

現段階で 50%以上の達成率の 8 項目は順調に進行していると捉え、49%以下となっているその他 6 項目について言及します。

項番 1 エネルギー使用に係る削減率

令和 12 年度達成目標：11% 令和 6 年度時点の実績値：-7.1%

新型コロナウイルス感染症が「第 5 類感染症」となって以降、経済活動の回復により施設エネルギーの消費量は増加傾向にありますが、職員一人ひとりの環境配慮行動の徹底を促すほか、照明の LED 化など省エネ機器への転換を推進し、目標達成を目指します。

項番 2 公共施設における LED 導入率

令和 12 年度達成目標：100% 令和 6 年度時点の実績値：34.3%

昨年度より導入率は上昇しておりますことから、研修等を通して庁内で脱炭素の必要性を共有し、施設所管課とともに導入推進に努めます。

項番 6 太陽光発電設備を設置している公共施設の割合

令和 12 年度達成目標：50% 令和 6 年度時点の実績値：20%

現在は計画に沿って順次設置を進めている段階で、令和 7 年度は新たに 4 施設に太陽光発電設備を設置するよう進めているところです。

項番 7 太陽光発電設備設置補助容量

令和 12 年度達成目標：5MW 令和 6 年度時点の実績値：0MW

補助実績はこれまで 0 であるのが現状です。市民や事業者から補助金制度の問い合わせもあることから、補助金制度の創設等についても検討していきます。

項番 8 水素やバイオマスなどの次世代エネルギー製造拠点数

令和 12 年度達成目標：5 件 令和 6 年度時点の実績値：2 件

令和 8 年 6 月より、キリンビール北海道千歳工場にて、ビール製造工程にグリーン水素由来蒸気を活用する実証事業が新たに開始される予定です。

項番 16 小中学校におけるカーボンニュートラルに関する授業数

令和 12 年度達成目標：27 件 令和 6 年度時点の実績値：8 件

次世代を担う子どもたちが気候変動について「自分ごと」として理解し行動していけるよう市内小中学校を対象とした出前授業を実施しております。子どもたちが環境について学ぶことのできる機会を引き続き提供し、目標達成を目指します。

5 総括

本計画の評価指標について、14 項目の具体目標に対し、現在 2 項目を達成できている状況です。各項目の達成率は半数以上が 50%を上回っており、まだ 50%に達していない項目についても計画に基づいて進行しているなど、目標値に対して上向きな推移が多いことから、総合的に判断し、概ね順調に施策の取り組みが進んでいると評価しております。